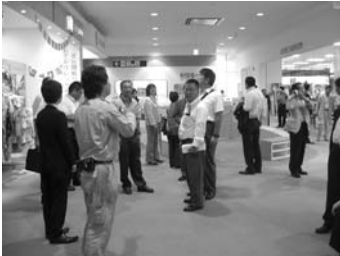


姉妹都市 観音寺市との交流

本年度は姉妹都市提携30周年という節目の年であり、去る7月3・4日に観音寺市議会議員22名と事務局職員3名の皆様を草津市にお迎えしました。

前は平成21年度に来られて以来で、草津市の南玄関である南草津駅周辺の変化に注目をされていました。



3日はイオンモール草津にて、同社のCSR活動の説明をいただきました。イオン独自の節電対策や環境貢献活動、また市と連携した子育て支援事業や防災活動等について本市議会議員とともに現場確認を交えた視察を行いました。



翌4日は、観音寺市議会議員の皆様を2班体制とし、1班は草津市議会議員との意見交換会に参加いただきました。議会改革の経緯や市民への説明会、市議会のあり方など、それぞれの議会における現状や課題について、様々な意見の交換を行い、相互の市議会にとって実り多きものとなりました。



また、もう1班は、烏丸半島にある「水生植物公園みずの森」と「県立琵琶湖博物館」を視察され、草津市の文化施設や「くさつ夢風車」を堪能していただきました。実際の滞在時間は24時間弱でしたが、節目の年に相応しい意義深い時間となったことと思います。

観音寺市の紹介

人口：63,433人

面積：117.47Km²

参考 草津市

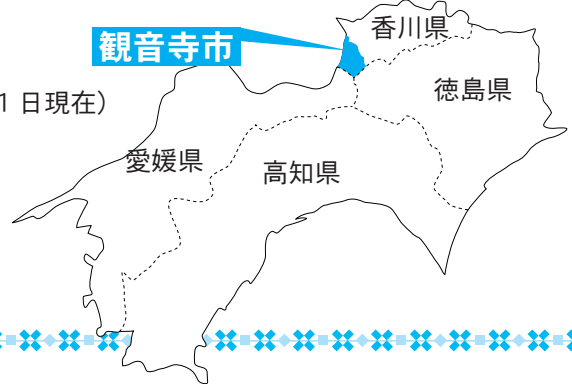
125,241人

67.92Km²

(平成24年7月1日現在)

姉妹都市提携の由来

室町時代の俳諧の祖、山崎宗鑑の生誕の地が草津市であり、終焉の地が観音寺市であるという縁で昭和57年10月22日に姉妹都市提携の調印を交わしました。



議会あれこれ

検定問題の答えと解説
何問正解しましたか??

Q1 A 地方自治制度は市長と議会を別の選挙で選出する二元代表制を採用していますので、議会から行政の代表者を選出する議院内閣制のような与党・野党関係は存在しません。

与党・野党関係は、役割が違う2つの代表機関の間での抑制と均衡を意図している二元代表制には馴染まないといえます。

Q2 B 議案とは条例案や予算案、意見書の提出、人事の同意案件などです。議案の提出権は市長や議員に与えられているほか、委員会にもあります。

Q3 D 草津市では定例会は年に4回開催されていますが、他の自治体には年に1~2回の定例会を長期間にわたって開催することにより、実質的に通年で議会が開催されている運用を行う議会もあります。

Q4 D イギリスの政治学者ジェームズ・ブライスが「近代民主主義」という著書の中で使用したことから世界中で有名になった言葉です。これは、市民にとって身近な公共サービス等の決定プロセスに選挙や住民参加を通じて関わっていくことによって、民主主義政治の進め方や参加の仕方を学び、民主主義的な考え方を身につけるうえで地方自治の場が適しているということです。

問題は12ページ（最終面）にあります。